

5 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

(1) 学生支援内容について

	内容
就職支援	求人依頼・求人受付・求人情報配信・学生就職ガイダンス・面接指導等・就職指導等を行っています。
進学支援	希望者へ指定校情報管理・情報配信などを行っています。
履修支援	履修登録相談・指導を行っています。
生活支援(住居)	希望者へ近隣の住居(アパート情報)の紹介を行っています。
生活支援(アルバイト)	アルバイトの情報揭示を行っています。
経済支援	希望者へ学費分納・学費延納・ローン情報の提供を行っています。
保健・衛生・メンタルヘルス等	学内にカウンセリング室や保健室を設置し学生支援に努めています。

(2) 奨学金制度について

①学園の奨学金制度

種類	要件	申込方法
校長推薦入学試験奨学金	校長推薦入学試験合格者のうち、経済的な理由により本人が希望した学生(各学科専攻2名以内 計8名以内)	入学願書と同時に所定の書類を提出
一般入学試験Ⅰ期奨学金	一般入学試験Ⅰ期合格者のうち、当日の試験成績上位者で選考。(各学科専攻2名以内 計8名以内)	入学願書を提出
社会人・学卒者入学試験奨学金	社会人・学卒者入学試験受験者のうち、当日の試験成績優秀者で選考。	入学願書を提出
4年制大学編入「私」宣言奨学金	1年次に在学する学生で「私」宣言書を提出し、かつ卒業後4年制大学編入学試験に合格、編入学しようとする者	入学後、指定期間に所定の書類を提出
富山福祉短期大学後援会奨学金	学習意欲が高く、経済的理由により修学困難な者	入学後、指定期間に所定の書類を提出

②本学学生が利用可能な外部の奨学金制度

種類	要件	申込方法
日本学生支援機構	経済的理由により修業に困難があると認められる者	下記①②のいずれか ①入学前に高校で予約手続き ②入学後に本学で手続き
富山県奨学資金	保護者等が富山県内に居住していること、学業成績(GPA)が一定以上(3.5)である者	下記①②のいずれか ①入学前に高校で予約手続き ②入学後に本学で手続き
射水市奨学資金	射水市に住所を有する世帯に属する者	射水市にて募集要領に沿って手続き
各地方自治体奨学金	各地方自治体に住居を有する者。その他条件については、各自治体によって定められている。	各自治体にて募集要領に沿って手続き

富山県介護福祉士等 修学資金	卒業後、富山県内において介護福祉士として業務に従事しようとする者	下記①②のいずれか ①入学前に高校で予約手続き ②入学後に本学で手続き
富山県看護学生修学資金	看護師免許取得後、富山県内の施設等において看護業務に従事しようとする者	入学後本学で手続き
各地方自治体看護学生修学資金	看護師免許取得後、各自治体の施設等において看護業務に従事しようとする者	各自治体にて募集要領に沿って手続き
各病院奨学金制度	看護学科に在籍及び卒業後に指定施設にて看護の業務に従事しようとする者	各病院にて募集要領に沿って手続き

(3) ボランティアセンターについて

取組状況の記載	<p>本学のボランティアセンターは、平成19年5月1日に開設されました。短期大学としては先駆的な取り組みであり、短大組織への位置づけも含め、富山県内初の試みとなりました。</p> <p>ボランティアセンターは、「共に生きる社会・地域づくりへの体験的学びの場としてのボランティア活動を学生に提供し支援することを通して、本学の教育目的である『社会性・創造性豊かな人間形成』を目指すとともに、医療・福祉専門職の養成校として本学の社会貢献的役割を強化充実すること」を目的としています。</p> <p>掲示板でのボランティア活動の募集に加え、ホームページを開設することで、学生がよりボランティア活動に取り組みやすい環境を提供しています。また、県内のボランティアを募集する施設等がアクセスしやすい環境を整えています。</p> <p>当センターでは、三ヶ地区コミュニティーセンター、射水市社会福祉協議会、地域の施設等との連携を重視した運営を行っています。</p> <p>また、本学では生涯学習力の修得を目的とする総合科目「地域づくりかえ学」においてボランティア活動を推奨しています。その際、ボランティアセンターを活用し、地域の障がい者、高齢者、幼児等の様々なボランティアに取り組んでいます。多くの学生がボランティアをすることの喜びや充実感を得ることができ、ボランティア活動への意欲を高める機会提供の中心となっています。</p>
センターの所在地	富山福祉短期大学2号館1階「ボランティアセンター」

(4) 大学国際交流及び学生の国際交流について

- ・海外の大学等との交流協定締結の実績はありません。
- ・平成 30 年度において、海外の大学等よりの留学生の受入れ、海外派遣学生の実績はありません。

(5) 社会貢献活動及び大学間連携・産官学連携の概要【社会貢献活動】

本学は、福祉系の 3 学科を有しており、それぞれの学科が地域に関わりながら公開講座を実施しています。また、生涯学習授業等として、「地域づくりかえ講座」と銘打ち、講座の開講や地域連携活動を継続して展開しています。関係教職員の協力の下、地域住民、関係機関職員、高校教諭、高校生を対象にこれらを実施しています。

平成 30 年度の主な実績は、次のとおりです。

No.	日にち	タイトル	受講者数
1	6 月 1 日	きときとアート塾『雅楽を描く』	13
2	6 月 6 日	交流分析入門～あなたも OK、わたしも OK～	9
3	6 月 16 日	臨床美術セミナー in 富山市	30
4	6 月 20 日	交流分析入門～人生のシナリオを書きかえる方法～	13
5	6 月 23 日	地域で暮らし続けるために	9
6	6 月 30 日	LGBT (SOGI) と福祉	16
7	7 月 5 日	住みよい地域って？福祉の視点から考えてみよう	5
8	7 月 7 日	健康のための運動処方	14
9	7 月 21 日	しあわせのつくりかた	17
10	8 月 1 日	介護職員のコミュニケーションおよび介護技術の向上	11
11	8 月 24 日	主体的・対話的で深い学びを本当に実現するために	17
12	8 月 24 日	きときとアート塾『玉ねぎをつくる』	15

13	8月26日	ソーシャルインクルージョン	5
14	9月1日	臨床美術セミナーin小矢部市	33
15	9月8日	事例研究の進め方・まとめ方①	6
16	9月15日	スマイル！親子運動教室	39
17	9月21日	負担の少ない丁寧な介護～起き上がりや車いす介助～	1
18	10月6日	臨床美術学会	21
19	10月13日	フィジカルアセスメントの再確認	2
20	10月13日	認知症機能低下予防運動コース	7
21	10月14日	性の多様性をめぐる学校教育の課題と展望	44
22	10月15日	地域住民の巻き込み方	9
23	10月19日	きときとアート塾『錦鯉を描く』	5
24	10月20日	認知症とは？基礎知識から予防	2
25	11月3日	エクセルを使いこなす 其の一	4
26	11月10日	事例研究の進め方・まとめ方②	6
27	11月19日	支え合う地域づくりを目指すための講演会	119
28	11月24日	エクセルを使いこなす 其の二	5
29	11月28日	ドイツの幼児教育～アドヴェントの季節～	5
30	11月30日	きときとアート塾『クリスマスツリーを描く』	11
31	2月2日	ふくたん心理学セミナー	12

32	2月23日	プレゼンテーションの極意	13
33	3月16日	介護職員スキルアップ研修	18
			計 536

【大学間連携】

本学は、平成9年11月から富山県大学長懇話会に参画し、平成13年12月に富山県大学連携協議会に組織を改組しました。富山県内の高等教育機関10機関とともに、相互協力のもと、研究・教育等の連携を推進しています。地域社会とのつながりや、相互の結びつけを深め、教育研究のさらなる向上に寄与することを目的として活動しています。

さらに、平成25年4月に富山県大学連携協議会を発展的に解消し、大学コンソーシアム富山として生まれ変わり活動しています。大学コンソーシアム富山は、各機関の知的資源を有効活用し、地域社会に貢献することを目的として設置されています。

【産官学連携】

平成30年度の実績はありません。

II 5・(6) 心身の健康等に係る支援について

取組状況の記載	<p>定期健康診断を、年に 1 回実施し健康確認を行っています。病気や障害等があり学内外の授業で支援が必要な学生がいた場合は、本人に承諾を得たうえで、学内教職員間で病状や発作等の対処法等を共有し、対応しています。</p> <p>本学では学生一人ひとりに担当教員を配置するアドバイザー (AD) 制度を設けており、学生が悩みを打ち明けやすい環境を作っています。相談を受けた AD は、学生データベースに記録し、必要に応じて他の教職員と情報共有し、対応にあたります。</p> <p>また、5 号館に保健室とカウンセリング室を設置しており、保健室は看護師資格をもつ教員が中心となり症状に合わせ適切な処置・指導を行います。カウンセリング室は、月 2 回非常勤カウンセラーを招いており、予約はメールでもできるので周りに知られることなく安心して受ける事ができます。</p>
---------	--